

2022年度 医療安全に関する報告

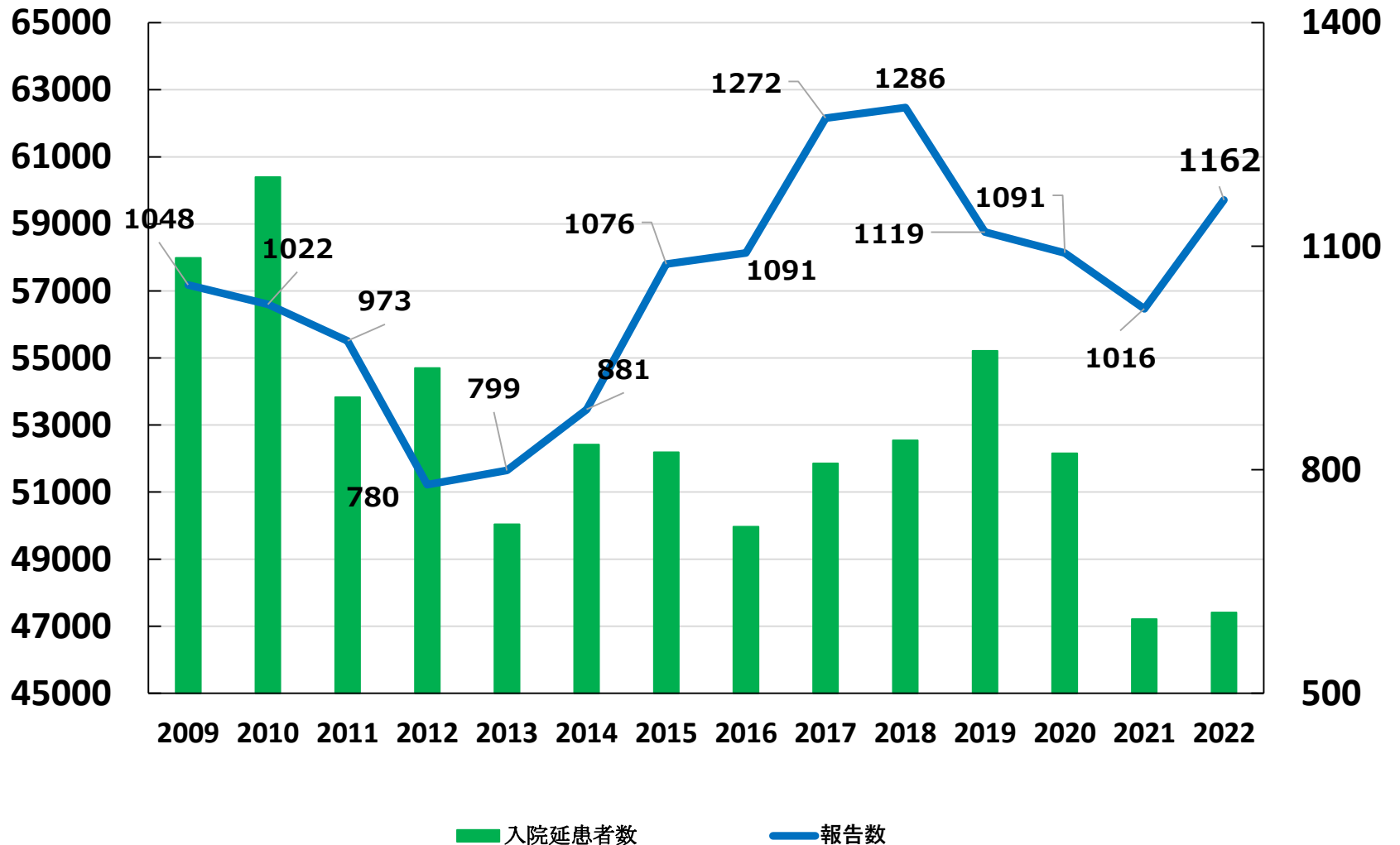
安全管理委員会

2023年 8月

入院延患者数と報告数の推移

入院延患者数

報告数（件）

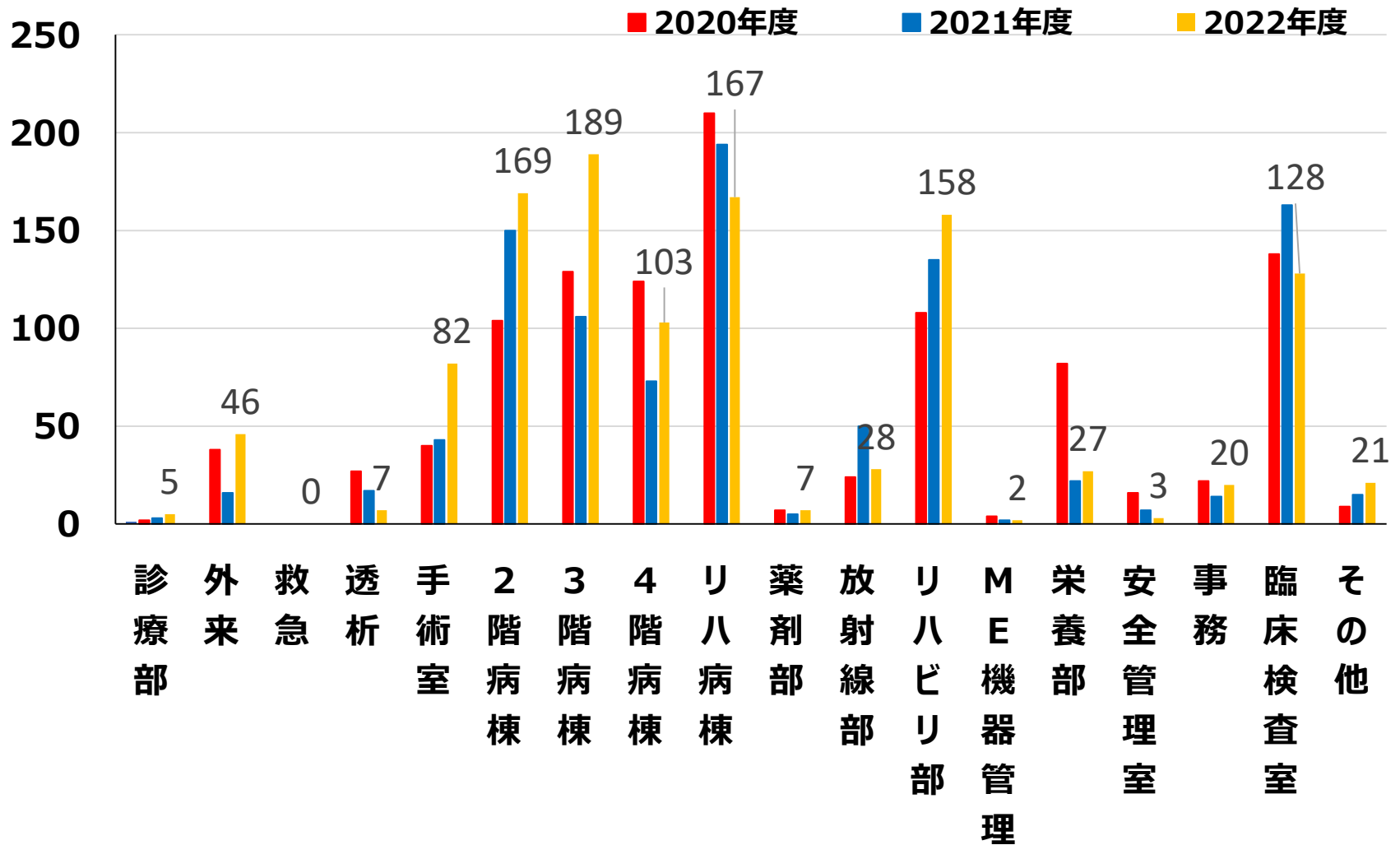


部署別インシデント・アクシデント報告の年間件数

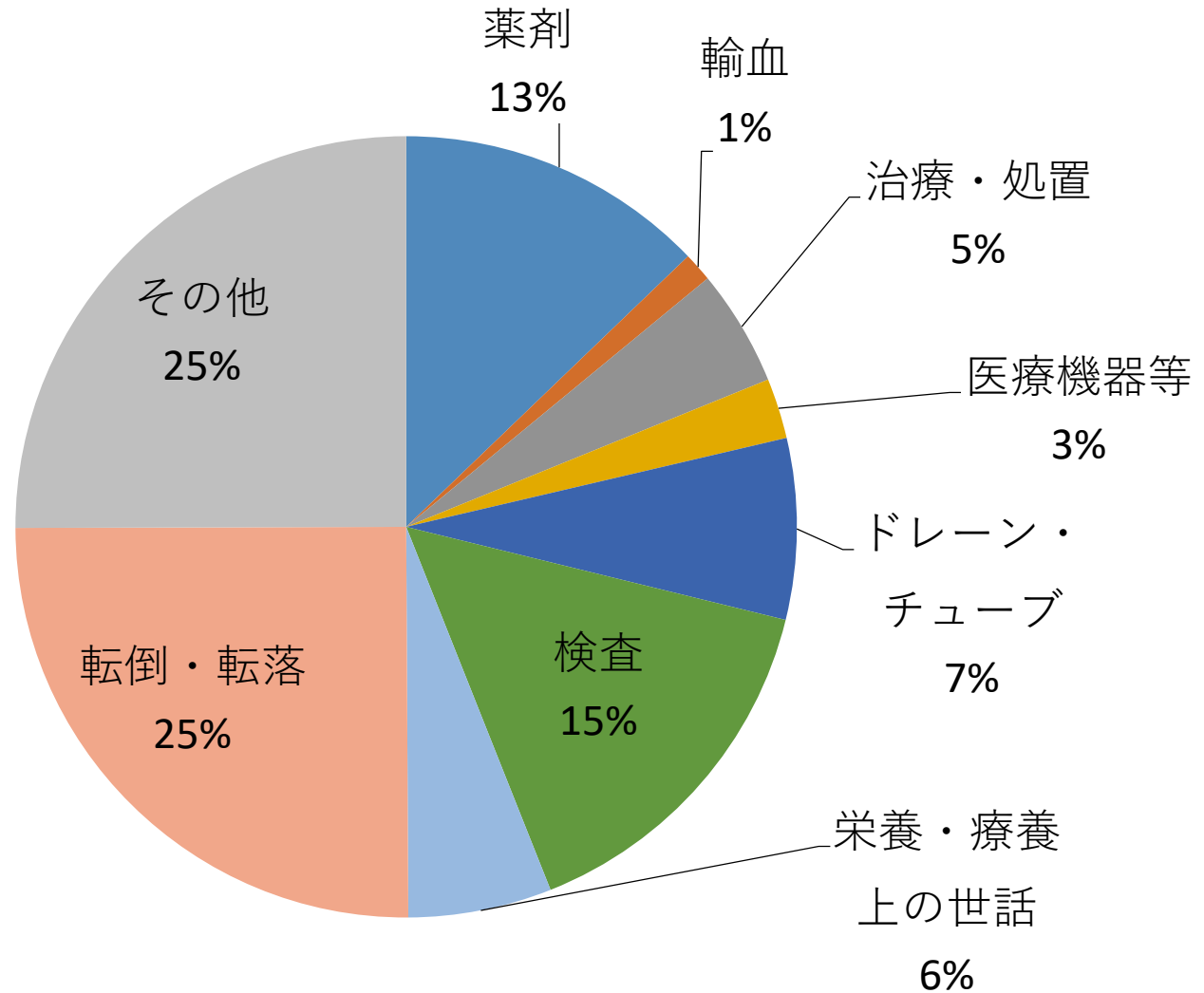
年度	インシデント 他				アクシデント				総 数			
	2019	2020	2021	2022	2019	2020	2021	2022	2019	2020	2021	2022
報告数	1073	1039	964	1083	43	52	52	79	1119	1091	1016	1162
診療部	4	1	3	1	1	1	0	4	5	2	3	5
安全管理室	4	9	2	2	4	7	5	1	8	16	7	3
看護部	714	639	559	698	35	40	41	65	749	679	600	763
薬剤部	11	7	4	7	0	0	1	0	11	7	5	7
放射線科・ ME・臨床検査	126	166	215	157	1	0	0	1	127	166	215	158
調理室	73	82	22	27	0	0	0	0	73	82	22	27
リハビリ部	93	105	130	151	2	3	5	7	95	108	135	158
事務部	32	21	15	20	0	1	0	0	35	22	15	20
その他	16	9	14	20	0	0	0	1	16	9	14	21

部署別報告数

(件)

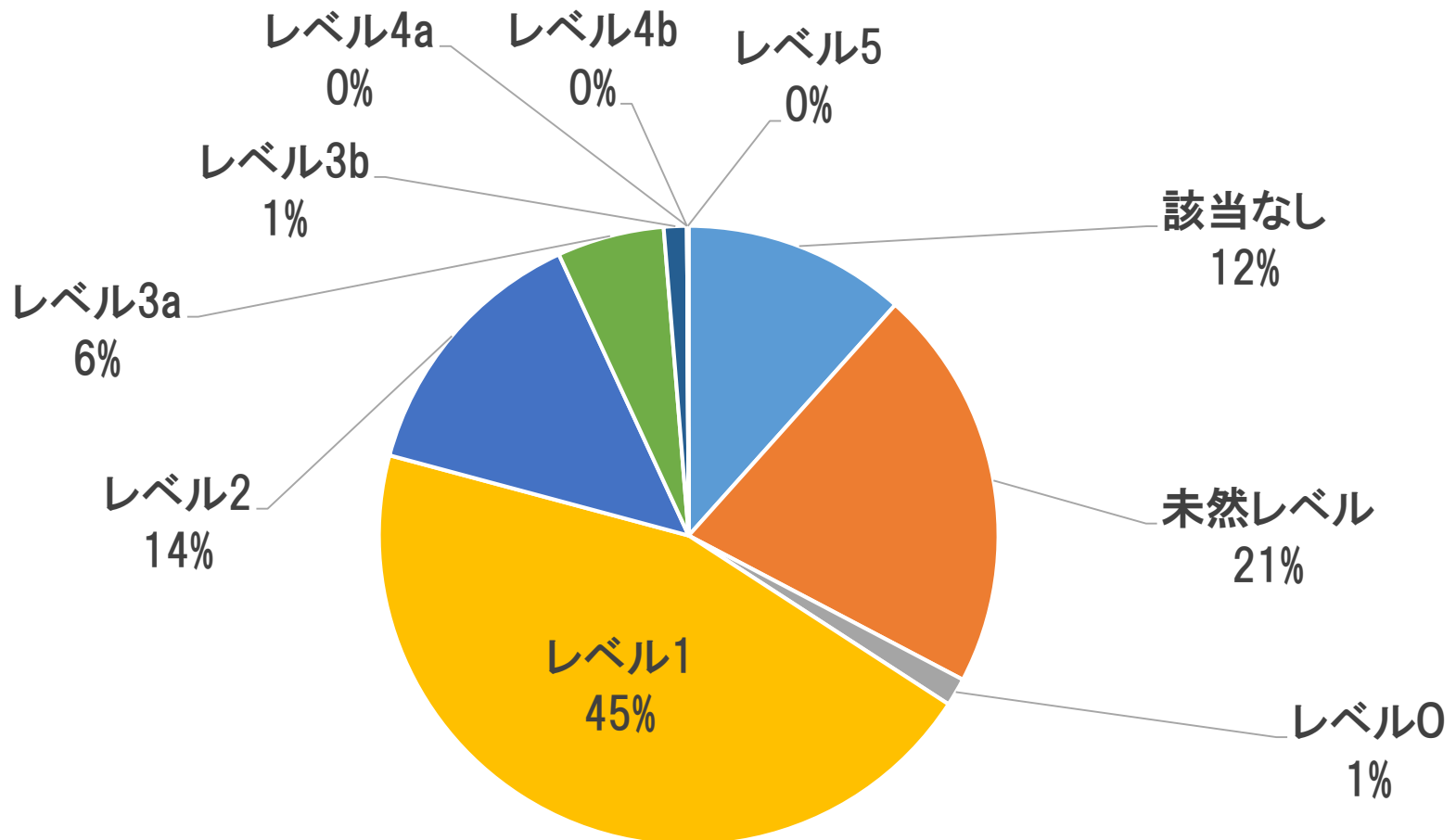


発生場面別の報告割合



患者影響レベル別の割合

全体では3b以上のアクシデントは15件（前年17件）
全報告数から見ると発生率 1.3%（前年1.3%）



患者影響レベルの説明

患者影響レベル	説明
該当なし	患者影響レベルに該当しないもの。その他。
未然レベル	実施されなかった。
レベル0	医薬品や医療機器の不具合があったが、患者に実施されなかった。
レベル1	医療行為（医療ミス、やるべき処置等を実施しなかった場合も含む）や管理上の問題により、患者への実害はなかったが、患者に何らかの影響をあたえた可能性を否定できない。
レベル2	一過性で障害は軽度。患者にバイタルサイン等の変化が生じ観察の強化及び、検査の必要が生じた。湿布・カットバン等
レベル3a	一過性で障害は中等度。簡単な処置や治療を要した（皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など）。
レベル3b	濃厚な処置や治療を要した（バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折等）。一過性で障害が重度
レベル4a	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない。
レベル4b	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題は伴う。
レベル5	事故が死因となる場合。現疾患の自然経過によるものをのぞく。